

令和6年度地域防災アンケート調査結果

1 自治会に、防災に関する組織等を規定していますか？(自治会のみ質問)

- している 38件
していない 252件

2 自治会で令和6年度に実施された活動について、当てはまるもの全てにチェックをしてください。(以下は、自主防災組織育成事業補助金の対象となり得る活動内容です。)

- | | |
|--|-----|
| ① 防災訓練や避難訓練、消防・防災に関する講習会などを実施した。 | 120 |
| ② 会合などで消防・防災に関する呼びかけ、体制の確認を実施した。 | 160 |
| ③ 行事の際に、炊き出しを実施した。 | 34 |
| ④ 地域で夜回りや巡視、危険箇所や消火器の点検等を実施した。 | 63 |
| ⑤ 防災マップ、防災新聞等の作成や配布をした。 | 50 |
| ⑥ 班長等を通じて緊急時に連絡できる連絡網を作成して配布した。 | 155 |
| ⑦ 災害や火事の際に必要な物品を、自治会内の誰もが使えるようにしている。 | 129 |
| ⑧ その他 | |
| ・ 小学生を対象にした防災体験学習会や保育園児を対象にした避難訓練等を実施した。 | |
| ・ 避難所開設運営を交流センターと共同で行えるよう、避難所の体制や防災備蓄品の確保等に重点を置いた活動を行った。 | |
| ・ 市からの高齢者等避難発令後、避難所開設、交流センターへの確認、避難希望者に対する移送支援の準備を行った。 | |
| ・ 災害時の要支援者を事前に選定し、安否確認のための防災連絡網(自治会役員、防災士、民生委員、福祉員で構成)を設定した。 | |
| ・ 総会において、災害発生時の役割分担を確認するとともに、組織図を各戸へ配布することにより、徹底を図った。 | |
| ・ LINEグループを構築して、連絡体制をとった。 | |
| ・ 一人暮らしの家庭への定期訪問や家族への連絡等、早めの避難を行える体制の構築を行った。 | |

など

3 あなたの自治会で自主防災組織を設立するためには、どのような課題がありますか。(自治会のみ設問)

- | | |
|----------------------------|-----|
| ① 自主防災組織の作成要領がわからない。 | 83 |
| ② 毎年役員が変わるため、組織を設立する余裕がない。 | 153 |
| ③ 自主防災組織を設立する必要性がわからない。 | 31 |

④ その他（具体的にご記入ください）

- ・ 自主防災への意識が低い
- ・ 地域の高齢化により、担い手不足となっている。
- ・ 役割を与えられることと、それを実行する責任に対する精神的な負担が拒絶につながっている。
- ・ 役員が2年で交代するため、取組を定着させるのが困難
- ・ 災害への危機感がない。
- ・ 共働き、子育て世帯が多いため、自治会活動に時間がさけない。

など

4 あなたの自治会を自主防災組織として市に申請するには、何がきっかけになると思われますか。（自治会のみ設問）

- | | |
|---|-------|
| ① 講演や研修等で自主防災組織の必要性を会員が知ること。 | 1 3 8 |
| ② 自主防災組織育成補助金の増額。（現在、資機材整備費：最大 30 万円、地域防災活動費：最大 5 万円） | 4 1 |
| ③ 職員等の派遣による、自主防災組織設立の支援。 | 5 8 |
| ④ 自主防災組織の必要性を感じない。 | 4 2 |

その理由

- ・ 戸数が少なく、顔が見える場所に集まっているため。
- ・ 被災の実例がなく、地域住民に災害に対する危機意識が比較的希薄であるため。
- ・ 自治会という小さい単位での組織化は非効率ではないかと思うため。
- ・ 地域防災の事業のために、自治会へ責任を帰結させることが合理的であるとは思えないため。
- ・ 自主防災組織を必要とする災害が起こっていないため。

など

⑤ その他

- ・ 組織化自体が目的になったり、組織を設けていることの自己満足や机上の組織運営では、万が一のときに役に立たないので、その実効性が見えてこないとならば組織化は難しい。
- ・ セミナーの開催や防災組織を結成している他の町内会の紹介
- ・ 具体的に活動方法等を指導していただきたい。
- ・ 近隣の自治会と統合することで、人材を確保できれば申請の話が出るかもしれない。
- ・ 市の予算と体制がしっかりと確立すること。
- ・ 市のHP情報のフィードバックによる情報共有

など

5 県や市などが行う防災活動への参加について、回答される方が把握している範囲でお答えください。(自主防災組織のみの設問)

- | | |
|---|-----|
| ① 県、市、消防署などが行う研修会や訓練などへ参加した方がいる。 | 8 8 |
| ② 消防署の予防活動(署員による個別訪問など)や福祉活動(民生委員などの個別訪問)へ同行した方がいる。 | 2 7 |
| ③ 防災の活動には参加していない。 | 5 1 |

6 「自主防災組織フォローアップ研修」として組織の運営や取り組みを支援するための研修会を実施しています。市が実施する研修会・勉強会等で、令和7年度に取り上げて欲しい内容やテーマについて希望がありますか。(自主防災組織のみの設問)

- | | |
|---|-----|
| ① 組織を立ち上げて最初に行うべき活動とその実施方法 | 2 1 |
| ② 訓練(避難訓練、炊き出し訓練等)の実施方法 | 4 4 |
| ③ 日ごろ(平時)の取り組み内容とその方法 | 7 0 |
| ④ 組織運営の方法、組織のまとめ方と配慮すべきこと | 3 8 |
| ⑤ 他の自主防災組織の取り組みの紹介 | 6 6 |
| ⑥ 自由意見による講師との意見交換 | 1 7 |
| ⑦ その他(具体的に) | |
| ・ 現実的な避難方法(自宅避難等・避難先指定場所へ避難する距離や収容人数に制限が有るため) | |
| ・ 有事の際に自主防災会が取るべき手順、行動指針のマニュアル化 | |
| ・ 情報伝達を伴った避難訓練方法 | |
| ・ 南海トラフを想定した訓練 | |
| ・ 被災後の自治会としての取り組みと市への要望、要請事項とその対策について | |
- など

7 自主防災会の活動を充実させるために市へのご要望など、お気づきがありましたらご記入ください。(自主防災組織のみの設問)

- ・ 河川が氾濫した場合の避難場所や避難経路について、町内会ごとに、具体的に指示して頂ければと思う。
- ・ 今回初めて防災講座を実施したが、資料データをもとに分かりやすく説明していただき、地域と災害との関わりについて色々なことを知り、考えさせられた。
- ・ 災害用品を購入して補助金を利用したら5年間、次回の補助金申請が出来ないのは長過ぎる。せめて2年毎位にしてほしい。
- ・ 同じ訓練ばかりでは変化がないので、何をしたらよいのか指導を願いたい。
- ・ 誰もが隔たりなく参加、画策できる環境を構築するため、有事の際に素早く行動できる行動指針等のマニュアル化を考えているため、防災講座を依頼したい。

など

※ 右端の数字は各設問に対する回答件数を記載したものです。